

# たかし ま

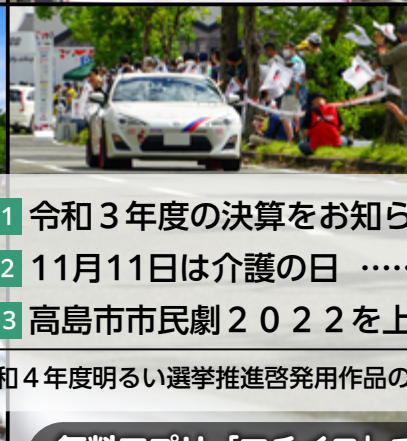
Takashima City  
Public Relations

広報

2022  
令和4年

11 月号  
No. 274

## TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジ in びわ湖高島



9月25日(日)、今津総合運動公園をメイン会場に開催されました。当日は天候にも恵まれ「子どもから大人まで、クルマと遊びつくせ!」をテーマに大盛況に幕を閉じました。

主な内容

- 特集1 令和3年度の決算をお知らせします ..... 2
- 特集2 11月11日は介護の日 ..... 6
- 特集3 高島市市民劇2022を上演! ..... 8
- ・令和4年度明るい選挙推進啓発用作品の審査結果 ..... 14

無料アプリ「マチイロ」で広報たかしなが読めます!

「広報たかしま」はスマートフォンアプリ「マチイロ」でも配信しています。スマートフォン等から当アプリをダウンロードしてお使いください。

マチイロ

検索

※アプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者のご負担になります。

フェイスブック Facebook と インスタグラム Instagram と ライン LINE で情報発信中!

こちらの名前でそれぞれ検索してご登録をお願いします。

・Facebook「あっと高島」・Instagram「takashima\_city #たかP写真館」・LINE「@takashima\_city」【たかPJ



イメージキャラクター

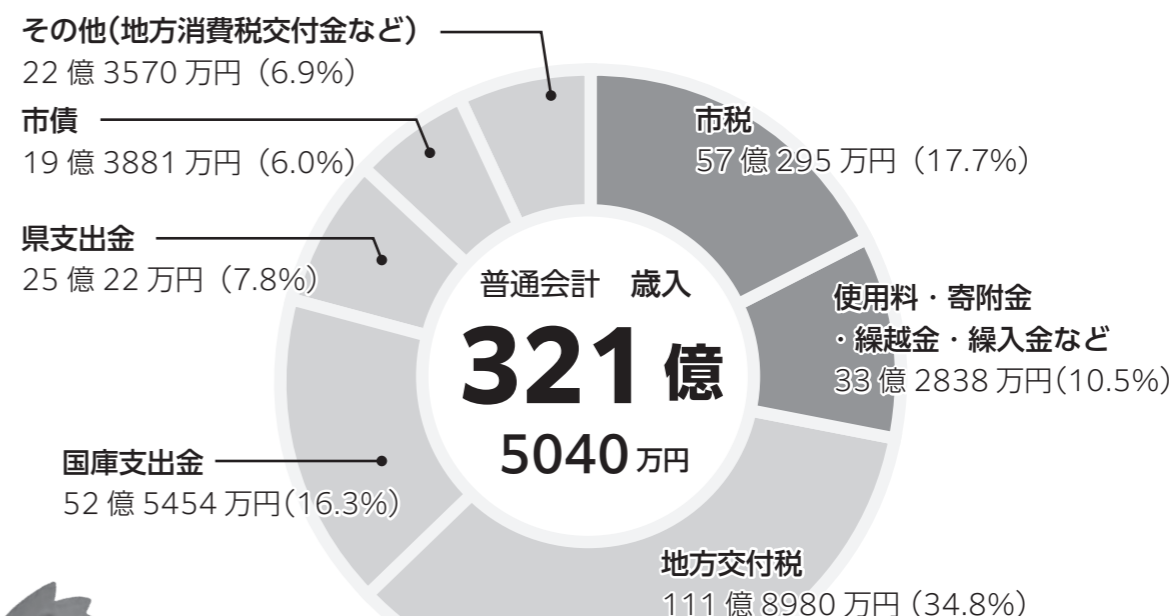
# 令和3年度の 決算をお知らせします

令和3年度の普通会計の決算規模は、歳入が321億5040万円で、前年度と比べて39億4133万円（10.9%）の減、歳出が312億5689万円で、前年度と比べて38億8100万円（11.0%）の減となりました。

問 財政課 ☎ (25) 8111

## 歳入

約39億円の減  
前年度比

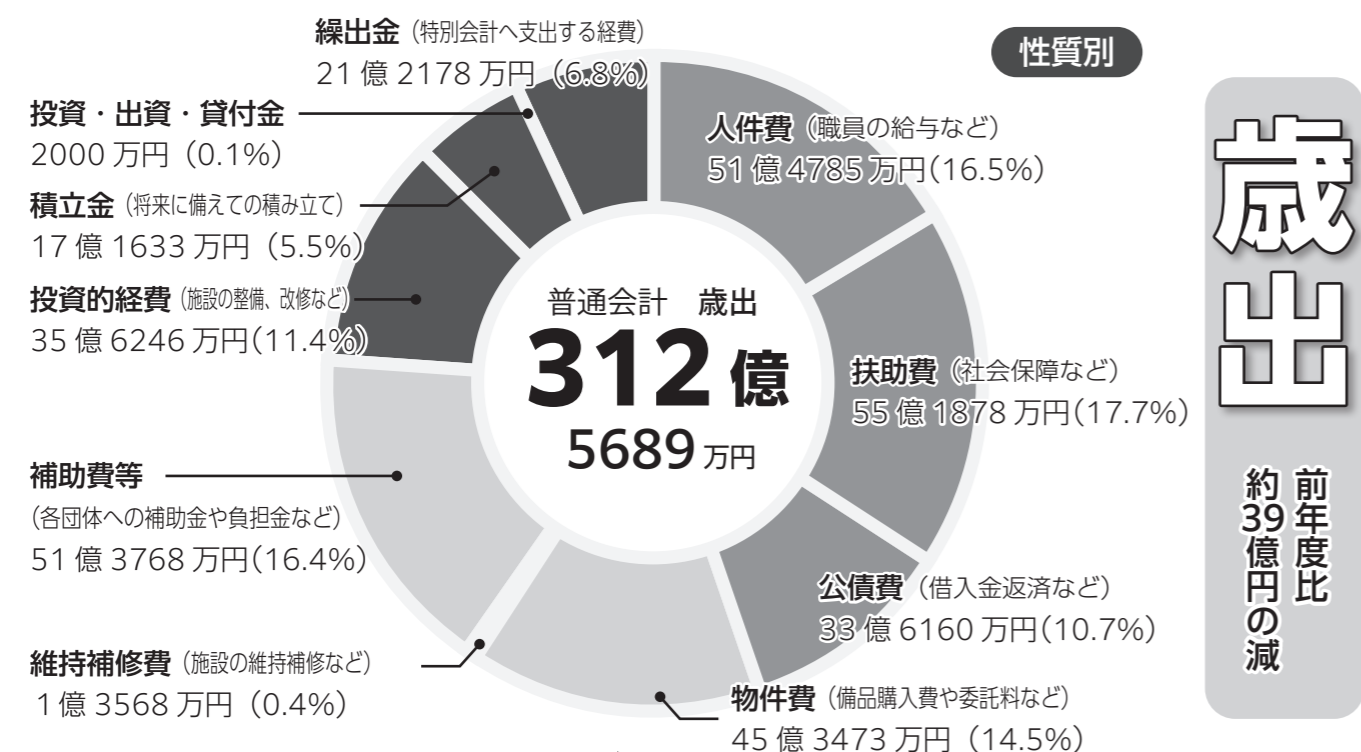


**依存財源 231億1907万円 (71.8%)**  
地方特例交付金が2億1217万円の増、地方消費税交付金が7632万円の増、地方交付税が8億9089万円の増となりましたが、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策による特別定額給付金の給付終了などによって国庫支出金が38億8676万円の減となり、依存財源全体では、11.8%の減となりました。

**自主財源 90億3133万円 (28.2%)**  
**【市税】**  
市民税は、個人市民税が2.1%の減、法人市民税が0.7%の増となりました。  
固定資産税は、土地で5.7%の増、家屋で1.7%の減、償却資産で4.8%の増となりました。  
市税全体では0.9%の増となりました。

どうして歳入が減少したの？

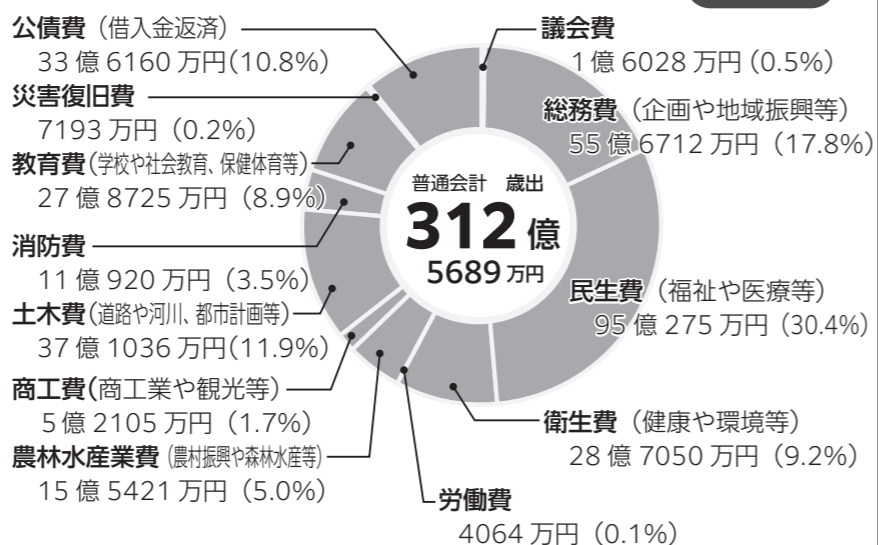
国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策による国庫支出金が大いに減少したことによるものです。



## 歳出

約39億円の減  
前年度比

### 目的別



**義務的経費 140億2823万円 (44.9%)**  
人件費が0.4%、扶助費が22.8%、公債費が2.3%の増となり、義務的経費全体で8.7%の増となりました。

**一般行政経費 98億809万円 (31.3%)**  
物件費が4.9%、維持補修費が8.2%の増、補助費が48.4%の減となり、一般行政経費全体では31.9%の減となりました。

**大きく増加したものは？**  
民生費では、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金や子育て世帯への臨時特別給付金などによって14.7%の増、農林水産業費では、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業などによって40.6%の増、土木費では、道路除雪業務委託料の増や橋梁長寿命化事業などによって10.1%の増となりました。

**大きく減少したものは？**  
総務費では、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策による特別定額給付金や、旧安曇川支所等の解体工事の完了などによって48.4%の減、商工費では、道の駅マキノ追坂峠売場拡張工事の整備完了などによって30.2%の減、教育費では、ICT教育機器整備や今津スタジアム改修事業の整備完了などによって22.8%の減となりました。

**左記以外の経費 74億2057万円(23.8%)**  
積立金が減少したことによって5.2%の減となりました。

どうして歳出が減少したの？

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策による特別定額給付金の給付終了などによる補助費等が大幅に減少したことによるものです。



特集1

# 令和3年度に実施した主な事業

【第2次高島市総合計画から】

【電源・防衛事業から】

1 「かもす」産業・経済	
▼畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 畜産農家の施設整備に対する支援	4億 3022万円
▼上安曇地区経営体育成基盤整備事業 農業基盤整備を推進	1億 4326万円
2 「あゆむ」子育て・教育	
▼ICT教育機器整備事業 市内小中学校全校のICT学習環境に必要な機器等の整備	1億 4015万円
▼私立保育園等施設整備補助事業 保育環境向上のために私立保育園が行う施設整備への助成	7197万円
3 「つむぐ」健康・福祉	
▼社会体育施設維持補修事業 施設利用者の利便性と安全性を確保するための改修工事	2億 1872万円
▼福祉医療事業 障がい者、高齢者や中学生までの医療費を助成	3億 1696万円
▼介護人材確保対策事業 介護サービスの安定的な提供のため家賃などの一部助成	330万円
4 「せせらぐ」暮らし・文化	
▼新たな住民自治の仕組みづくり事業 持続可能な地域社会づくりに向けて住民自治協議会を設立	845万円
▼消防施設整備事業 消防団ポンプ自動車の更新など	8819万円
5 「ささえる」生活基盤	
▼公共交通対策事業 路線バス運行経費やコミュニティバス購入費の補助など	2億 4989万円
▼橋梁長寿命化事業 橋梁の定期点検、補修工事の実施	1億 4967万円
▼消雪設備整備事業 消雪管の布設など、冬期間の安全な通行の確保	1億 5117万円
6 「こころざす」行政経営	
▼びわ湖高島えんむすび事業 ふるさと納税制度に係る返礼品の拡充、PRなど	3億 1468万円
▼リビングシフト構想策定事業 新たな関係人口の開拓を目指すための構想を策定	232万円

電源立地地域対策交付金事業	
発電用施設周辺地域の生活環境の整備を行うため、文部科学省および経済産業省からの交付金を受け、各種事業を実施しました。	
・教育機器の整備	2263万円
・医療機器の整備	2000万円
・市道消雪装置の調査洗浄	1485万円
・市道消雪装置の管理	600万円
・図書館の運営	450万円
・防災用備蓄物資の整備	440万円
・社会体育施設用品の整備	400万円
・環境センターの運営	250万円
・学校給食センターの運営	185万円
・消防救助器具の整備	113万円
<b>交付金合計</b>	<b>8186万円</b>

防衛施設周辺整備事業	
饗庭野演習場が所在することから、その周辺地域の生活環境の整備を行うため、防衛省からの補助金・交付金を受け、次の事業を実施しました。	
・市道の改良	1億 1844万円
・公立保育園の運営	5487万円
・子ども医療費の助成	3000万円
・公民館の運営	2000万円
・消防ポンプ自動車の整備	1415万円
・普通河川の改修	1360万円
・ICT教育機器の通信料等	700万円
・凍結防止剤散布用トラックの整備	637万円
<b>補助金・交付金合計</b>	<b>2億 6443万円</b>



【新型コロナウイルス感染症緊急経済対策から】

主な事業	
▼コロナ対策支援事業 地域通貨アイカの配布やサポート給付金の支給などの支援	8億 307万円
▼子育て世帯への臨時特別給付金給付事業 子育て世帯に18歳以下の児童1人当たり10万円を支給	6億 2018万円
▼住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 住民税非課税世帯等に1世帯当たり10万円を支給	4億 3271万円
▼新型コロナウイルスワクチン接種事業 新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保など	3億 3084万円
▼子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(ひとり親世帯) 児童扶養手当を受給している等ひとり親世帯に児童1人当たり5万円を支給	2569万円
▼子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(ひとり親世帯以外) 住民税非課税の子育て世帯等に児童1人当たり5万円を支給	2190万円

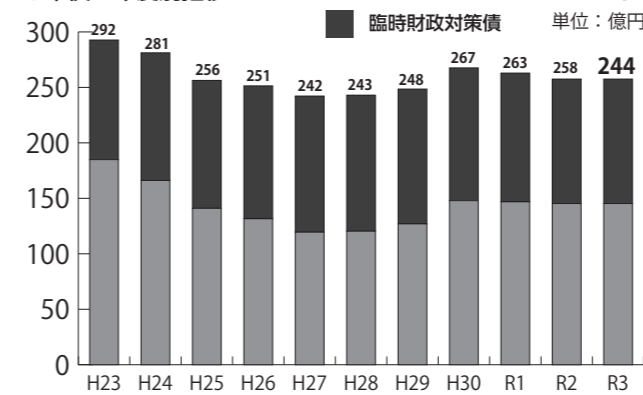
## 市債（借入金）

令和2年から14億円減

令和3年度末の市債現在高は、前年度に比べ13億4112万円減少しました。これは、投資的経費に充当する市債発行額が7億87万円減額となり、元金償還額が市債発行額を上回ったことによるものです。

市債を発行したものは、合併特例事業債、過疎対策事業債、防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債、災害復旧事業債など、いずれも国からの財源補てん割合が高い有利な借入金としています。

▼市債の年度別推移



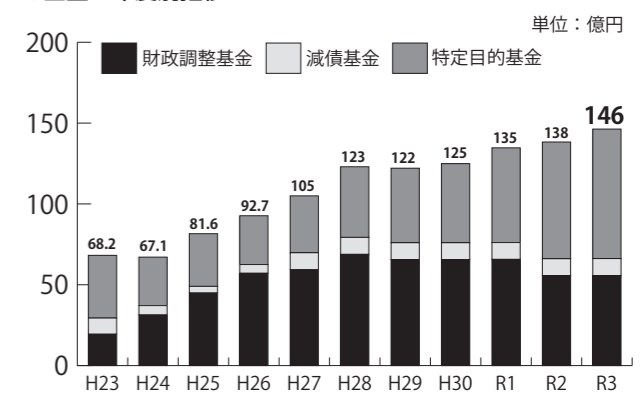
## 基金（貯金）

将来の備えとして8億円増

基金は「地域活性化基金」や「水と緑のふるさとづくり基金」から、9億1764万円の取り崩しを行い、まちづくり活動やふるさと納税寄附金を活用した子育て支援などの事業に充当しました。

また、地域住民福祉の向上や公共施設の老朽化対策など、将来への備えとして、「公共施設整備基金」や「地域活性化基金」などの特定目的基金に17億1387万円の積み立てを行いました。

▼基金の年度別推移



## 財政健全化判断比率

実質公債費比率が県内市町の平均より高い値

市の財政状況を示す指標は、県内平均を上回っています。

健全化判断比率の状況

項目	令和2年度	令和3年度	健全化判断比率 (単位：%)		県内市町平均 (R2)
			イエローカード (早期健全化基準)	レッドカード (財政再生基準)	
①実質赤字比率	-	-	12.60	20.0	-
②連結実質赤字比率	-	-	17.60	30.0	-
③実質公債費比率	9.5	9.6	25.0	35.0	5.4
④将来負担比率	15.0	1.3	350.0	-	-

※本市は、実質収支および連結実質収支が黒字のため、①と②の比率は算定されません。

●実質公債費比率…市債（借入金）の返済額を指標化し、資金繰りの深刻度を示すものです。

●将来負担比率…将来支払っていく可能性のある負債（借入金等）の残高を指標化し、将来の財政圧迫の度合いを示すものです。

## 経常収支比率

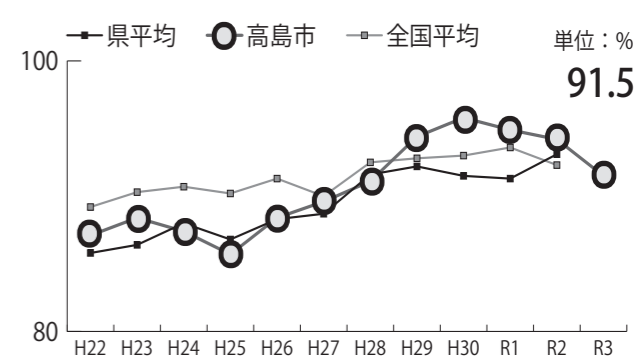
前年度より2.7ポイント改善

これは、分子となる人件費や公債費などの経常的経費に充当する経常一般財源は増加したものの、市税や普通交付税、地方特例交付金など、分母となる経常一般財源が増加したことによるものです。

●経常収支比率…

自治体の財政構造の弾力性を判断する指標の1つで、人件費や扶助費、公債費のように毎年経常的に支出する経費が、経常的に収入される一般財源額に占める割合で、この比率が高いほど自由に使える財源がなく、財政的に余裕がないといえます。

▼経常収支比率の推移



## 人の暮らしや幸せをつくる仕事

福祉の現場で働く職員さんに、福祉で働く魅力を伺いました

現場の  
職員さん  
の声

## 01 地域で支えて、みんないい顔！

大好きな祖母と過ごした時間が、私を福祉の仕事へ進ませてくれました。施設に入る前の生活にできる限り近づこうサポートし、利用者さんの普段どおりの暮らしをつくりたい。そんな思いで一日を丁寧に過ごすよう心がけています。

今後の目標は、コロナで中止になっていた夏祭りを復活＆開催することです。とてもいいんですよ、このお祭り！地域の方々が施設に出向き、ボランティアとして屋台や盆踊りを盛り上げてくださったり、地域子どもたちが施設内で入居の利用者さんと楽しそうに遊んだり。同じ地域住民として、同じ時間を過ごすことができるので、利用者さんの表情もどんどんよくなる貴重な一日。このような機会をもっと増やしていきたいですね。

ケアワーカー 地村 紗耶さん



## 02 今日の支援は、未来のために

もともと自衛隊員だった私が、福祉の仕事を選んだ理由。それは、結婚そして育児の経験から、子どもたちの未来がより暮らしやすいものになるよう、誰かの役に立ちたいと考えたからです。

私は現在、障害者支援施設で、生活支援員として働いています。利用者さんの日中活動、着替え、食事、入浴などのできない部分のお手伝いといった生活のサポートを行っています。言葉で気持ちを伝えることが難しい方が多いので、表情の変化やしぐさで思いをくみ取れるよう、繊細なコミュニケーションがとても大切。そして、3年後、5年後の利用者さんの姿を考え、そこに向かって今日の支援で何ができるかを考えるんです。難しいけど、本当にやりがいのある毎日です。

生活支援員 山本 美穂さん

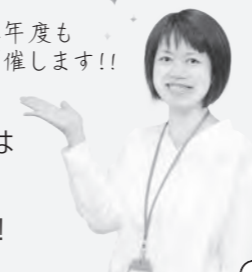


## ～介護と福祉の就職フェア～

とき 令和5年3月12日(日)

ところ 安曇川公民館

年齢や資格は問いません。  
介護や福祉の仕事に興味のある方は  
お気軽にご参加ください。  
皆さんの参加をお待ちしています！

本年度も  
開催します!!

## 特集2

## 11月11日は介護の日

“いい日、いい日、毎日あったか介護ありがとう”

☎ 長寿介護課 ☎ (25) 8029



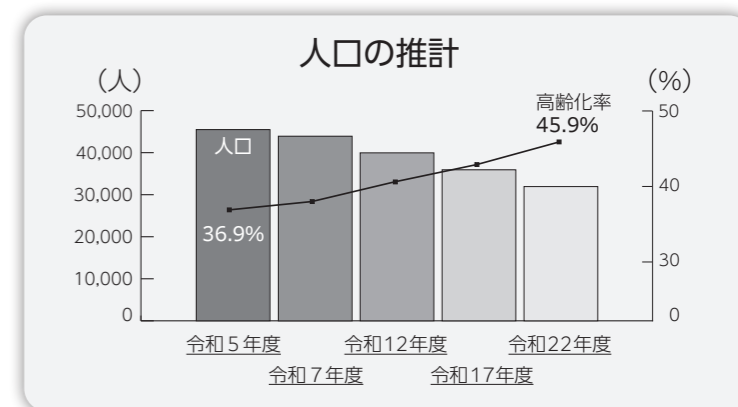
厚生労働省は、介護への理解を深め、介護従事者や利用者およびその家族を支援するとともに、これらを取り巻く地域社会の支え合いや交流を促進する観点から、11月11日を“介護の日”としました。



## 介護の現場では“あなた”の力を必要としています！

全国的に高齢化が進み、日本の高齢者人口のピークは、令和24年とされていますが、市では令和4年がピークとなっており、全国より20年も早いスピードで高齢化が進んでいます。

現在、高齢化率も36%を超え、今後さらに高齢化が進む中、介護分野では深刻な人材の不足によって、ますます介護職のニーズが高まっています。



資料：高島市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画（参考）

## 介護職として働く皆さんを応援します！

介護の職員の皆さんを支援するため、各種の助成事業を実施しています。

## 【助成事業】

- 子育て応援助成事業  
学童保育基本利用料の2分の1（月額上限額6千円）
- 家賃助成事業  
勤務先の住居手当を差し引いた借家の家賃額の2分の1（対象：市外から転入した方 月額上限額2万円・助成期間2年）
- 奨学金助成事業  
高校・大学・専門学校在学中の奨学金返済月額の2分の1（年間上限額6万円・助成期間2年）

## 【助成金交付要件】

- ▼対象期間  
令和4年4月1日（金）  
～令和5年3月31日（金）
- ▼対象者  
市内の介護サービス事業所等に正規雇用職員として3か月以上勤務する介護職員等で、翌年度も同様の雇用形態で働く方
- 【申請受付期間】  
令和5年4月3日（月）～10日（月）

## 雇用する法人も応援します！

介護職員の新規採用や資格取得、外国人人材の雇用促進のため、法人への助成も行っています。

- 新規介護職員等雇用促進助成事業
- 介護支援専門員定着支援助成事業
- 外国人介護職員就労助成事業



詳しい内容は、市のホームページをご覧ください。

# 市民の手でつくりあげた 高島市市民劇2022を上演!

問 藤樹の里文化芸術会館 ☎ (32) 2461

今回、12月3日(土)、4日(日)に藤樹の里文化芸術会館で第6弾目の公演を迎える「高島市市民劇2022」を開催します。

この市民劇は、市民による実行委員会が主体となっており、1度開催し、演劇を通して市が抱えるさまざまな課題を拾い上げて脚本化しており、出演者から観客までが文化活動によって一体となることを目的に取り組んでいます。

本番を1か月後に控え、ここでは、今回の公演の見どころから出演者のメッセージまで、本番をより楽しむポイントを紹介いたします。

**鑑賞のポイント**

今回の公演タイトルは「十二人のおとなしい市民たち」です。架空のまち「中島市」を舞台に、実行委員会が、市政50周年記念事業の内容を考えるとところから始まります。性別や年齢などそれぞれを取り巻く環境の異なる実行委員たちが想いをぶつけ合いながら、「みんなが本当に望むまちづくりとは何なのか」と、自分たちが暮らすまちへの想いをさまざまな視点・立場から見つめ直していく完全オリジナル創作劇です。

皆さんも大好きなまちの風景やこれからつくりあげたい理想のまちを想像しながらご覧ください。

そして、ストーリーに加え出演者にも注目してください。出演者はプロの俳優ではなく市民の皆さんであることも市民劇の大きな見どころです。出演者には、今まで演劇経験のない方もいますが、稽古を重ねるごとに上達し、素晴らしい演技になっています。

出演者からも公演に向けて「市民劇がまちの新たな魅力になるように精一杯頑張ります」、「前回の市民劇に負けないぐらい最高の舞台になるように頑張ります」と力強いメッセージが届いています。このような熱い想いをもった演技にぜひご注目ください。

目一杯頑張ります。



74歳の  
おじいちゃん  
も元気に挑戦  
あるぞ!



最高のステージに!



私たち12人の  
キャストが出演  
します!



3回と4回の  
2回公演します♪  
本番が楽しみです!



歳を重ねても挑戦  
する気持ちで!

心の琴線に触れる  
舞台を創るぞ!



▼日時

**12月3日(土)** 18時開場・18時30分開演  
**4日(日)** 13時30分開場・14時開演

▼場所

藤樹の里文化芸術会館 (全席自由)

▼入場料

【前売】一般1,000円、18歳以下500円  
【当日】一般1,200円、18歳以下700円  
※前売り券が売り切れた場合、当日券はありません。  
※未就学児は入場できません。

▼チケット販売所

藤樹の里文化芸術会館、高島市民会館、ガリバーホール、マキノ土に学ぶ里研修センター、今津東コミュニティセンター、新旭公民館、安曇川公民館、朽木公民館

チームワークを  
大切に!



初参加なので精一杯  
頑張ります!



今回の市民劇も、すべて市民の手でつくりあげられた、市民の想いが詰まった公演となっております。高島市だからできる、ここでしか見ることのできない市民劇をぜひ見に来てください。